

農 研 速 報

2025 年 4 月 4 日 発行
茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974
TEL:0297-62-0206 FAX:0297-64-0667

麦の生育状況(3月31日現在、龍ヶ崎市)

地 域 名	麦 種 (品種)	生育ステージ	対平年遅速 (予測出穂期)	生育(作柄・品質)概況	備 考
茨城県 (龍ヶ崎市)	11 月 14 日播種 小麦 (さとのそら)	節間伸長期～止 葉展開期	3日遅い	龍ヶ崎市における、3月第5半旬の気象と麦類生育概況は、下記のとおりである。 【気象】 気 温:平均気温は高かった(平年比+3.5℃、図1)。 降 水 量:平年比0%とかなり少なかった(図2)。 日 照 時 間:平年比 180%とかなり長かった(図3)。 【生育】 生育速度:大麦の出穂期は3日遅い～1日早かった(表2)。主稈幼穂長から予測した小麦の出穂期は、平年より2～3日遅い(表3)。 草 丈:11 月 14 日播種の小麦は平年並であった。カシマムギは平年並で、カシマゴールはかなり高かった。二条大麦は平年並であった。11 月 20 日播種の小麦はやや高かった。11 月 29 日播種の裸麦は 52.9 cmであった(表1)。 茎 数:11 月 14 日の小麦はやや多く、六条大麦は平年並で、二条大麦はやや多かった。11 月 20 日播種の小麦は多かった。11 月 29 日播種の裸麦は 1957 本/㎡であった(表1)。 葉 色:11 月 14 日播種の小麦は濃く、六条大麦は平年並～濃く、二条大麦はかなり濃かった。11 月 20 日播種の小麦は平年並であった。11 月 29 日播種の裸麦の SPAD 値は 44.6 であった(表1)。 写真1、2に3月28日現在の所内麦類の生育状況を示した。 【注釈】 1) 対平年遅速は、主稈幼穂長による予測出穂期および確定した出穂期と平年値の差を示す。	◆麦類赤かび病は、以下を参考に適期防除に努める。 【防除適期】 ・小 麦 開花始～開花期 (出穂後7～10 日頃) ・六条大麦 開花を確認した時 (出穂後3日頃) ・二条大麦 穂から葯が抽出しているのを確認した時 ・「キラリモチ」は開花受粉性のため、六条大麦の散布時期である出穂後3日頃を目安に散布する。
	六条大麦 (カシマムギ)	出穂始～出穂期	平年並		
	(カシマゴール)	穂揃期	3日早い		
	二条大麦 (ミカモゴールデン)	出穂期～穂揃期	1日遅い		
	11 月 20 日播種 小麦 (さとのそら)	節間伸長期～止 葉展開期	2日遅い		
	11 月 29 日播種 裸麦 (キラリモチ)	節間伸長期～止 葉展開期	-		
	※キラリモチは出芽不良のため11/29に再度播種を行ったため参考値。				

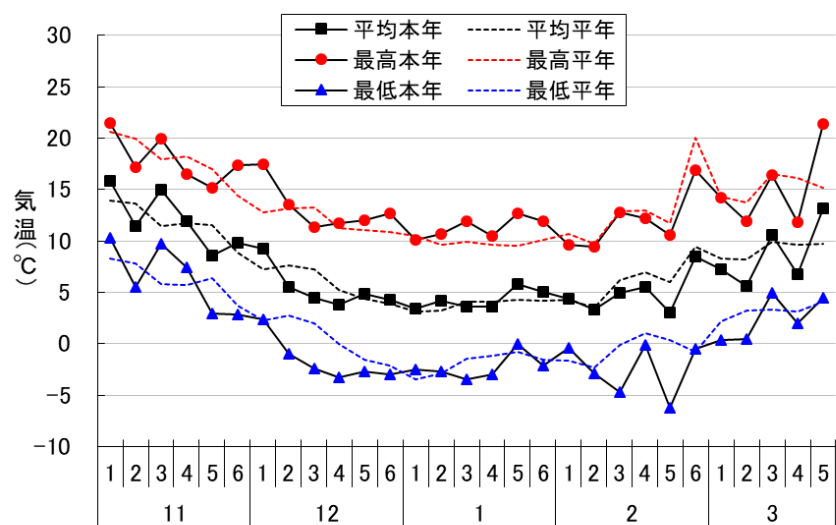


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移 (月・半旬)
 注) 水戸地方気象台龍ヶ崎観測所アメダスデータより作成

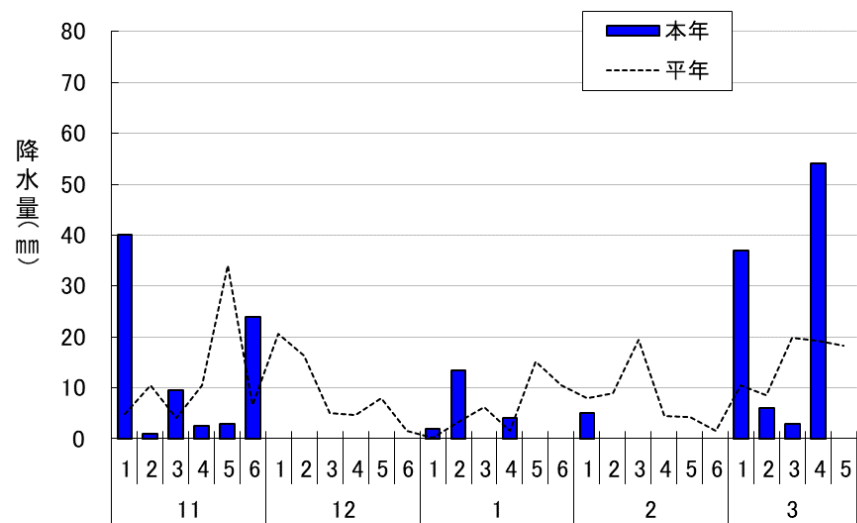


図2 半旬別降水量の推移 (月・半旬)
 注) 水戸地方気象台龍ヶ崎観測所アメダスデータより作成

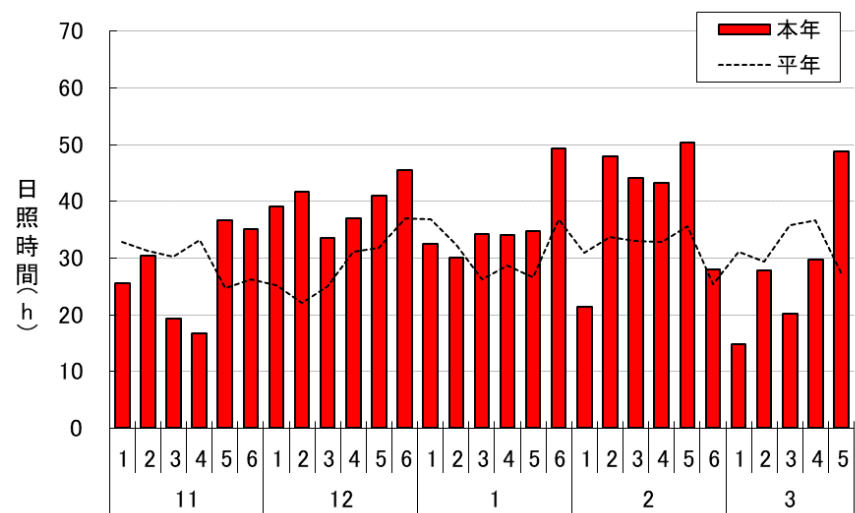


図3 半旬別日照時間の推移 (月・半旬)
 注) 水戸地方気象台龍ヶ崎観測所アメダスデータより作成

表 1 輪換畑における麦類の生育（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

2025年3月31日現在											
播種期 (月・日)	麦 種	品種名	主稈葉数			主稈長			主稈幼穂長		
			本年値 (枚)	平年値 (枚)	平年差 (枚)	本年値 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)	本年値 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)
11.14	小麦	さとのそら	12.3	12.4	-0.1	227.8	242.2	94	40.6	45.1	90
	六条大麦	カシマムギ	11.7	11.9	-0.2	448.3	377.6	119	39.6	35.7	111
		カシマゴール	11.9	12.4	-0.5	出穂済み	502.7	-	出穂済み	40.3	-
	二条大麦	ミカモゴールドン	11.1	11.5	-0.4	出穂済み	559.9	-	出穂済み	49.8	-
11.20	小麦	さとのそら	11.3	10.9	0.4	187.4	184.6	102	33.6	31.6	106
11.29	裸麦	キラリモチ	11.8	-	-	221.3	-	-	54.0	-	-

播種期 (月・日)	麦 種	品種名	草丈			茎数			葉色		
			本年値 (cm)	平年値 (cm)	平年比 (%)	本年値 (本/m ²)	平年値 (本/m ²)	平年比 (%)	本年値 (SPAD)	平年値 (SPAD)	平年差
11.14	小麦	さとのそら	56.0	53.9	104	1,460	1,213	120	46.8	42.4	4.4
	六条大麦	カシマムギ	58.5	53.1	110	903	841	107	48.1	47.8	0.3
		カシマゴール	72.4	60.4	120	863	743	116	43.6	41.5	2.1
	二条大麦	ミカモゴールドン	64.7	65.5	99	1,183	976	121	39.6	35.6	4.0
11.20	小麦	さとのそら	54.7	49.6	110	1,673	1,331	126	44.5	44.8	-0.3
11.29	裸麦	キラリモチ	52.9	-	-	1,957	-	-	44.6	-	-

【耕種概要】

- 1) 圃場来歴：転換2年目（前作大豆）
- 2) 播種期：平年の播種期は11月10日、21日
- 3) 播種量：（小麦・六条）0.8kg/a、（二条）1.0kg/a
- 4) 播種様式：条間30cm、ドリル播き（シーダーテープによる）
- 5) 基肥：（小麦） $N-P_2O_5-K_2O=1.0-1.5-1.3$ kg/a、（六条・二条） $N-P_2O_5-K_2O=0.8-1.2-1.1$ kg/a
- 6) 麦踏み：2024年12月25日、2025年1月15日、1月30日（11/14播種）。2025年1月15日、1月30日、2月14日（11/20播種）。2025年1月30日、2月14日（キラリモチ）に実施。
- 7) 茎立期追肥：六条大麦は2025年3月3日、小麦は3月14日、裸麦は3月18日に施用。二条大麦は未施用。

【平年値】

2019年～2023年播種の5ヵ年の平均値、キラリモチは出芽不良により再度11/29に播種を行ったため参考値。

表2 輪換畑における大麦の出穂期(龍ヶ崎市, 水田利用研究室)

2025年3月31日現在

播種期	麦種	品種名	出穂期				
			本年値 (月. 日)	前年値 (月. 日)	平年値 (月. 日)	平年差	
11. 14	六条大麦	カシマムギ	－	3. 29	4. 1	－	※3/31時点 3割出穂
		カシマゴール	3. 27	3. 25	3. 30	－3	
	二条大麦	ミカモゴールデン	3. 30	3. 25	3. 29	1	

【注釈】 耕種概要および平年値は表1に準じる。

表3 主稈幼穂長から予測した小麦「さとのそら」、裸麦「キラリモチ」の出穂期

2025年3月31日現在

播種期 (月. 日)	麦 種	品種名	予測出穂期					出穂期	
			低温 (月. 日)	やや低温 (月. 日)	平年並 (月. 日)	やや高温 (月. 日)	高温 (月. 日)	平年値 (月. 日)	平年差
11. 14	小麦	さとのそら	4. 12	4. 11	4. 10	4. 9	4. 9	4. 7	3
11. 20		さとのそら	4. 13	4. 12	4. 12	4. 11	4. 10	4. 10	2
11. 29	裸麦	キラリモチ	4. 8	4. 7	4. 7	4. 6	4. 6	－	－

【注釈】

- 1) 低温・やや低温・平年並・やや高温・高温は、調査日以降の平均気温が平年値より－2℃、－1℃、±0℃、＋1℃、＋2℃で推移した場合を示す。
- 2) 平年値は表1に準じる。平年差は、調査日以降の平均気温が平年並に推移した場合における予測値と平年値の差を示す。
- 3) 出穂期の平年差は、主稈幼穂長から算出した予測出穂期と平年値の差を示す。
- 4) 出穂期の予測は、農業研究所ホームページ(下記URL)から表計算ソフトのファイルで行った。

<http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/noken/mugikukidachisyussuiyosoku/mugikukidachisyussuiyosoku.html>

11/14 播種 さとのそら



11/20 播種 さとのそら

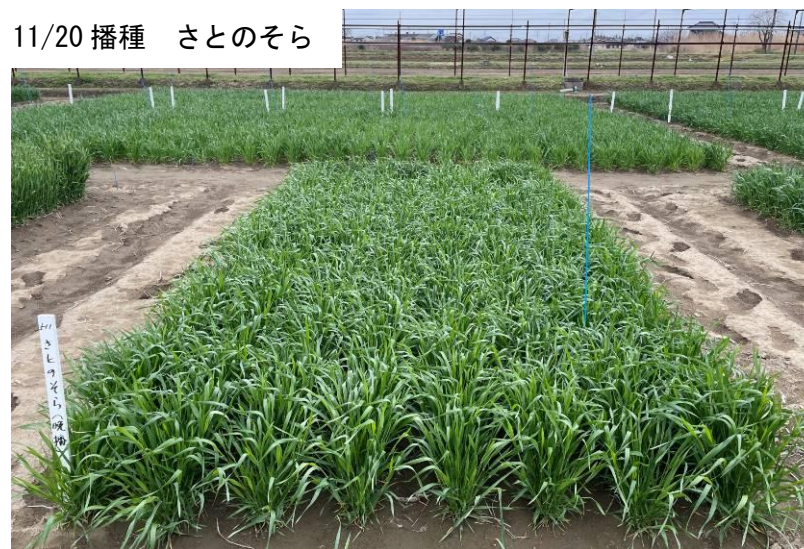
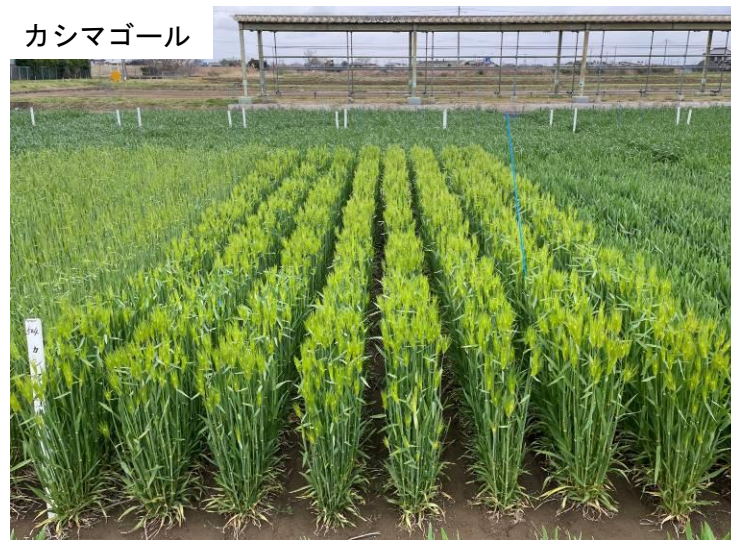


写真1 所内小麦の生育状況(左 11月14日播種、右 11月20日播種 2025年3月31日撮影)

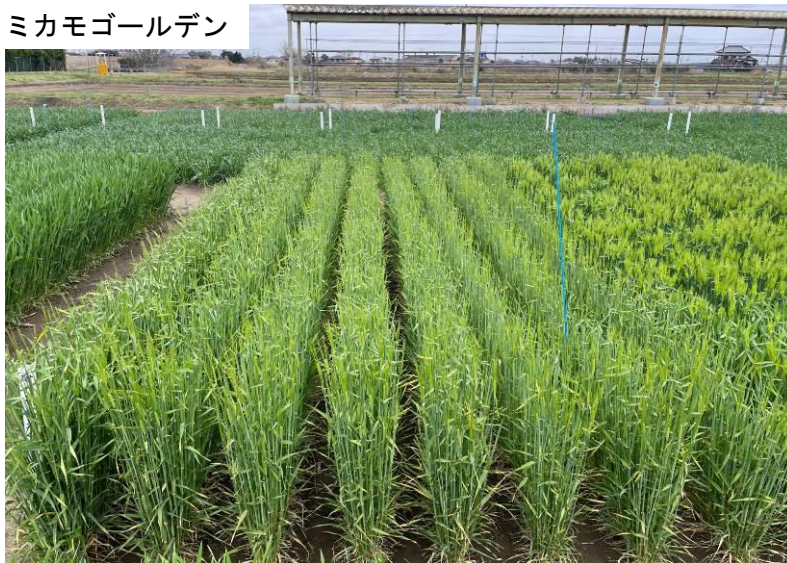
カシマムギ



カシマゴール



ミカモゴールド



キラリモチ



写真2 所内大麦の生育状況

(左上 カシマムギ、右上 カシマゴール、左下 ミカモゴールド 11月14日播種、右下 キラリモチ 11月29日播種、2025年3月31日撮影)

気象概況および生育状況における表現について

平年値（過去5年間の平均値）との違いの程度を、「低い（少ない）」、「平年並」、「高い（多い）」等の階級区分で表しています。
各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めています。
さらに、「低い（少ない）」、「高い（多い）」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

